



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 0	0	百日咳	↓ 0	1
RSウイルス感染症	→ 0	0	ヘルパンギーナ	↓ 124	160
咽頭結膜熱	↗ 40	36	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↗ 35	30
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	↗ 28	19	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 225	190	流行性角結膜炎 (はやり目)	↗ 35	25
水痘	↗ 35	31	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 13	12	無菌性髄膜炎	↓ 0	1
伝染性紅斑 (りんご病)	↗ 3	1	マイコプラズマ肺炎	↓ 2	5
突発性発しん	↓ 39	48	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い
感染症

- ☀ 感染性胃腸炎
- ☀ ヘルパンギーナ
- ☀ 咽頭結膜熱

- 感染性胃腸炎は、報告数 225 件(前週報告数 190 件)と増加した。地区別では、宇城、人吉、有明に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の 52 件を最多に幅広い年齢層からの報告である。
- ヘルパンギーナは、報告数 124 件(前週報告数 160 件)と減少した。地区別では、天草、水俣、菊池に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の 36 件を最多に 15～19 歳以下からの報告である。
- 突発性発しんは、報告数 39 件(前週報告数 48 件)と増加した。地区別では、菊池、熊本、宇城に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の 10 件を最多に 主に 10～14 歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所			20	15	64	13	4		16		34	5		33				
山鹿保健所					9	1	3						*	*				
菊池保健所			15	4	19	2	5	1	6		17	4						
阿蘇保健所					1								*	*			1	
御船保健所					2						1		*	*				
八代保健所			1	2	23	10			5		9							
水俣保健所					1				1		9		*	*				
人吉保健所				4	26				4				*	*				
有明保健所			1	1	43	9		2	3		9	3		2				
宇城保健所			2	1	28				3		11	14						
天草保健所			1	1	9		1		1		34	9					1	
計	0	0	40	28	225	35	13	3	39	0	124	35	0	35	0	0	2	0


◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
RSウイルス感染症	0																					
咽頭結膜熱	40			10	2	5	9	5	3	1	1	1	2		1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28				4	5	5	2	3	4	3	2										
感染性胃腸炎	225	6	24	52	29	16	14	17	13	6	12	6	18	1	11							
水痘	35			7	8	6	6	6	2													
手足口病	13		3	5	2		1						1		1							
伝染性紅斑	3		2								1											
突発性発しん	39	1	25	12	1																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	124	1	18	36	30	10	15	5	4	2	1	1		1								
流行性耳下腺炎	35			2	7		8	6	2	3	3	1	3									
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	35			1	1	3	3	1	3	1		1	2		4	8	4			3		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	2		1												1							
クラミジア肺炎	0																					

**大きな流行が発生
又は継続しつつある地域**

- ☀ 感染性胃腸炎：宇城、人吉、有明
- ☀ ヘルパンギーナ：天草、水俣、菊池
- ☀ 咽頭結膜熱：菊池、熊本、宇城

流行性角結膜炎
が増加中 !!



【流行性角結膜炎が増加しています。】
今週の報告数は 35 件で、第 22 週 (5/28～6/3) に以降徐々に増加しています。保健所別では、熊本市が警報レベルを超えている他、第 3 1 週の一地点当たりの患者報告数は全国より 4 倍以上多い報告数でした。流行性角結膜炎は、夏を中心に発生が多く、白目の部分が赤くなる、涙が多く出る、目やにが出る、まぶたが腫れる。などの症状が出ます。
両目に症状が出る場合が多いのですが、片方だけのこともあります。ある特定の型のアデノウイルスに感染することが原因で、ウイルスのついた手で目を触ることで感染(接触感染)することが多いので、予防には手洗いが有効です。
感染力が強く、感染した人の使用したティッシュペーパー、タオル、洗面器等からウイルスが広がります。赤ちゃんや小さなお子さんなどでは、重症化することがあります。症状の見られる場合には、早めに医療機関を受診しましょう。